

メンタルヘルス・ハラスメント防止講座

～ 職場トラブルの予防と対策～

【研修の目的】

管理・監督者として部下のストレスに敏感になる意識を身につけるとともに、予防、早期発見、早期対応について学び、組織内での指導者として適切な対応能力の向上を図る。また、職場におけるハラスメントを理解し、管理監督者としての自己を認識するとともにハラスメントをしない予防方法を習得する。また、休暇した職員の円滑な職場復帰支援や再発防止対策の策定を目指す。

【講師・所属】

岸 良範 福島学院大学大学院教授

【研修のねらい・概要】

いつもと違う部下の様子に気づくために、「傾聴」のスキルで部下の心情を理解し、早期に職員のストレスを把握する。また、心の病の引き金になりうるパワハラ防止及び体制や仕組みづくりを学ぶ。

【令和3年度受講者の声】

- ・事例が中心の講義で分かりやすかった
- ・積極的傾聴法を学んで、話を聴くときのポイントが分かった
- ・今後リーダーとして職務を遂行していく上で非常に参考になった
- ・職場でのパワハラ問題を考える上で、とてもいい学びとなった
- ・周りに目を配りしっかり正しい対応ができるようにしたい

【研修内容】

- 1 職場ストレスの現状とメンタルヘルス指針
- 2 ラインによるケア(管理監督者の役割)
- 3 パワハラの現状についての理解
- 4 自分自身の加害者的傾向、被害者的傾向についてのチェック
- 5 パワハラからの脱出について検討
- 6 パワハラ裁判の実例検討
- 7 積極的傾聴法について
- 8 管理者がうまく配慮できた事例について

